

097784 PCT/JP00/04646

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

12.07.00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

JP00/4646

出 願 年 月 日
Date of Application:

1999年 7月12日

REC'D 04 SEP 2000

出 願 番 号
Application Number:

平成11年特許願第230835号

WIPO PCT

出 願 人
Applicant (s):

株式会社マークアイ

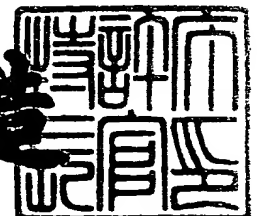
PRIORITY
DOCUMENT

SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2000年 8月18日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3064521

【書類名】 特許願
 【整理番号】 MIPH1101
 【提出日】 平成11年 7月12日
 【あて先】 特許庁長官 殿
 【発明の名称】 最適業務達成方法、最適業務達成装置及び成果物
 【請求項の数】 35

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区麹町3丁目5番19号 株式会社 マークアイ内

【氏名】 小島 裕二郎

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区麹町3丁目5番19号 株式会社 マークアイ内

【氏名】 青沼 緑

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区麹町3丁目5番19号 株式会社 マークアイ内

【氏名】 藤本 純

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区麹町3丁目5番19号 株式会社 マークアイ内

【氏名】 吉田 香織

【特許出願人】

【住所又は居所】 東京都千代田区麹町3丁目5番19号

【氏名又は名称】 株式会社マークアイ

【代表者】 小島 裕二郎

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

特平 1 1－2 3 0 8 3

【物件名】 要約書 1

【書類名】 明細書

【発明の名称】 最適業務達成方法、最適業務達成装置及び成果物

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 基本イメージ情報、基本テキスト情報、期限管理情報、最新情報、詳細履歴情報並びに基本情報編集の各画面を使用して最適な業務を達成するための最適業務達成方法であって、該方法は、基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面並びに期限管理画面から詳細履歴画面に遷移する工程、並びに基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面、期限管理画面から基本情報編集画面に遷移する工程及び又は詳細履歴画面から基本情報編集画面に遷移する工程と、前記各情報画面を企業の担当者及び代理人との間で共有化して同じ業務環境で最適な作業を行うための情報を伝達するための通信工程とを備えることを特徴とする最適業務達成方法。

【請求項 2】 基本イメージ情報、基本テキスト情報、期限管理情報、最新情報、詳細履歴情報並びに基本情報編集の各画面を使用して最適な業務を達成するための最適業務達成方法であって、該方法は、基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面並びに期限管理画面から詳細履歴画面に遷移する工程、並びに基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面、期限管理画面から基本情報編集画面に遷移する工程及び又は詳細履歴画面から基本情報編集画面に遷移する工程を備えることを特徴とする最適業務達成方法。

【請求項 3】 基本イメージ画面、基本テキスト画面、期限管理画面、最新情報画面、詳細履歴画面並びに基本情報編集画面において、各画面間の遷移は、プルダウン方式で行われることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法。

【請求項 4】 基本イメージ画面、基本テキスト画面、期限管理画面、最新情報画面、詳細履歴画面において表示した結果のデータの検索、並べ替え、案件の割り込み、並びに割り込み解除を行う工程を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法。

【請求項 5】 前記基本イメージ画面は、基本情報作成画面、基本情報編集画面、履歴作成画面、詳細履歴画面に遷移する工程を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法。

【請求項 6】基本テキスト画面は、基本情報作成画面、基本情報編集画面、履歴作成画面、詳細履歴画面に遷移する工程を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法。

【請求項 7】期限管理画面は、詳細履歴画面に遷移する工程を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法。

~~【請求項 8】最新情報画面は、履歴作成画面、詳細履歴画面に遷移する工程を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法。~~

【請求項 9】前記基本情報編集画面は、基本情報新規登録、基本情報編集、基本情報編集削除、キーワード編集を行うことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法。

【請求項 10】前記基本情報編集画面において、基本情報編集は編集する案件のチェックボックスをチェック選択して編集ボタンを実行して行われることを特徴とする請求項 9 記載の最適業務達成方法。

【請求項 11】前記履歴作成画面は、1つの案件について所定のステータス業務を実施する第1新規履歴情報画面を作成する工程と、前記任意のステータスを元に次の仕事を自動的に計算して当該業務のスケジュールを管理する第2新規履歴情報画面を作成する工程とさらに備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法。

【請求項 12】基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面から新規履歴作成画面に遷移する工程を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法。

【請求項 13】前記詳細履歴工程は、履歴編集工程を備え、該履歴編集は、基本情報履歴一覧のチェックボックスをチェック選択することにより行なわれることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法。

【請求項 14】履歴に関係のあるファイルを履歴画面に添付することができることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法。

【請求項 15】クラス通常画面、クラス国際還元画面、更新管理画面をさらに備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法。

【請求項 16】クラス通常画面、クラス国際還元画面、更新管理画面は、詳細

履歴画面に遷移する工程を備えることを特徴とする請求項 15 記載の最適業務達成方法。

【請求項 17】 クラス通常画面、クラス国際還元画面は、キーワード編集画面に遷移する工程を備えることを特徴とする請求項 15 記載の最適業務達成方法。

【請求項 18】 前記請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法で得られる成果物は商標管理である。

【請求項 19】 前記請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法で得られる成果物は特許管理である。

【請求項 20】 前記請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成方法で得られる成果物は特許管理である。

【請求項 21】 基本イメージ情報、基本テキスト情報、期限管理情報、最新情報編集並びに履歴情報の各画面を使用して最適な業務を達成するための最適業務達成装置であって、該装置は、基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面並びに期限管理画面から詳細履歴画面に遷移する装置、並びに基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面並びに期限管理画面から基本情報編集画面に遷移する装置及び又は詳細履歴画面から基本情報編集画面に遷移する装置を備えるコンピューター装置と、前記各情報画面を企業の担当者及び代理人との間で共有化して同じ業務環境で最適な作業を行うための情報を伝達するために通信装置とを備えることを特徴とする最適成果達成装置。

【請求項 22】 前記コンピューター装置は、前記基本イメージ画面を基本情報作成画面、基本情報編集画面、履歴作成画面、詳細履歴画面に遷移する手段と、前記基本テキスト画面は、基本情報作成画面、基本情報編集画面、履歴作成画面、詳細履歴画面に遷移する手段と、前記期限管理画面は、詳細履歴画面に遷移する手段と、前記最新情報画面は、履歴作成画面、詳細履歴画面に遷移する手段とを備えることを特徴とする請求項 21 記載の最適業務達成装置。

【請求項 23】 前記基本イメージ画面、基本テキスト画面、期限管理画面、最新情報画面は、メニュー欄と、基本情報データー一覧欄とを備えることを特徴とする請求項 21 記載の最適業務達成装置。

【請求項 24】 前記詳細履歴画面は、メニュー欄と、基本情報履歴一覧欄とを

備えることを特徴とする請求項 21 記載の最適業務達成装置。

【請求項 25】 前記詳細履歴画面は、基本情報欄と詳細履歴情報欄とを備えることを特徴とする請求項 21 記載の最適業務達成装置。

【請求項 26】 前記履歴作成画面は、第 1 新規履歴作成画面と第 2 新規履歴作成画面とを備え、前記第 1 新規履歴作成画面は、案件の基本情報欄と、新規履歴作成の作業項目を入力・選択する欄と、既存の詳細履歴欄とを備えることを特徴とする請求項 21 記載の最適業務達成装置。

【請求項 27】 前記第 1 新規履歴作成画面は、発生日付け、FROM/TO の宛先選択、文書責任者選択、文書種類選択、情報選択、状態補足選択を備え、前記第 2 新規履歴作成画面は、前画面で確定した内容表示、現在の履歴、次の仕事に関する情報を備えることを特徴とする請求項 26 記載の最適業務達成装置。

【請求項 28】 前記履歴作成画面は、続きの履歴作成画面をさらに備えることを特徴とする請求項 26 記載の最適業務達成装置。

【請求項 29】 前記最新情報編集画面は、基本情報欄と、基本イメージ、基本テキスト、最新情報、期限管理にて選択された基本情報欄とを備えることを特徴とする請求項 21 記載の最適業務達成装置。

【請求項 30】 前記基本イメージ画面のメニュー欄は、データグループ・画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、簡易検索、初期条件、1 解除、メインメニュー、ログアウト、登録証印刷、ダウンロード、問い合わせ、復帰、ページ切り替え、ページジャンプ、ヘルプを備えることを特徴とする請求項 21 記載の最適業務達成装置。

【請求項 31】 前記基本テキスト画面のメニュー欄は、データグループ・画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、簡易検索、初期条件、1 解除、メインメニュー、ログアウト、登録証印刷、ダウンロード、問い合わせ、復帰、ページ切り替え、ページジャンプ、ヘルプを備えることを特徴とする請求項 21 記載の最適業務達成装置。

【請求項 32】 前記最新情報画面のメニュー欄は、データグループ・画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、簡易検索、初期条件、1 解除、メインメニュー、ログアウト、登録証

印刷、ダウンロード、問い合わせ、復帰、ページ切り替え、ページジャンプ、ヘルプを備えることを特徴とする請求項 21 記載の最適業務達成装置。

【請求項 33】 前記期限管理画面のメニュー欄は、データグループ・画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、簡易検索、初期条件、1 解除、メインメニュー、ログアウト、登録証印刷、ダウンロード、問い合わせ、復帰、ページ切り替え、ページジャンプ、ヘルプを備えることを特徴とする請求項 21 記載の最適業務達成装置。

【請求項 34】 前記詳細履歴（基本情報）画面のメニュー欄は、データグループ・画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、簡易検索、初期条件、1 解除、メインメニュー、ログアウト、登録証印刷、ダウンロード、問い合わせ、復帰、ページ切り替え、ページジャンプ、ヘルプを備えることを特徴とする請求項 21 記載の最適業務達成装置。

【請求項 35】 前記詳細履歴（履歴情報）画面のメニュー欄は、データグループ・画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、簡易検索、初期条件、1 解除、メインメニュー、ログアウト、登録証印刷、ダウンロード、問い合わせ、復帰、ページ切り替え、ページジャンプ、ヘルプを備えることを特徴とする請求項 21 記載の最適業務達成装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は、特許管理、商標管理並びに著作権管理等、及びそれらに関連する業務を適確に行うための最適業務達成方法、最適業務達成装置及び成果物に関する。

【0002】

【従来の技術】

今日、特許権、商標権等の知的所有権は、企業の経営資源としてますます重要になってきている。これら特許出願や商標出願を管理して有効な権利を取得する

ための管理手法、並びに管理手法を具現化したソフトウェア及びデータベースが開発されている。しかし、これらのソフトウェア及びデータベースは、各企業の社内データベースを目的として開発されたものがほとんどであり、企業と企業からの仕事に対する代理人との間で同じ業務環境を作って最適な業務を達成する手法を現実にしたものはなかった。従って、同じ業務環境内で最適な業務を達成する手法を現実にしたデータベース及びソフトウェアは存在していなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

本発明の目的は、上記の欠点を鑑みてなされたものであり、企業と企業からの仕事に対する代理人との間で同じ業務環境を作って最適な業務を達成すると共に同じ業務環境内で最適な業務を達成するための最適業務達成方法及び最適業務達成装置を提供する。また、該方法により得られる成果物を提供する。

【0004】

本発明に係る最適業務達成方法及び最適業務達成装置によれば、業務の現状を認識した上ですべき仕事を短時間にかつ効率良く行うことができ、仕事の成果の向上を図ることができる。

【0005】

経営者、担当者、各部門間、並びに代理人間において業務を共有化することにより現在進行している業務をリアルタイムに各人の立場で知ることができるので最適な業務判断を行うことができる。

【0006】

日常の業務を通して書類を電子化して主コンピュータに記憶されて保存されるので物理的なファイルの必要性がない。よってセキュリティの確保がしやすいと共に大幅な省力化が得られる。

【0007】

業務情報が論理的な構成になっているので各種データ解析が容易にできる。かつ業務コストの大幅な削減を達成することができる。

【0008】

共通のデータベースを使用することによりクライアント側でコンピュータ装置の

メンテ

【0009】

データの客観性を維持でき、よって人の入れ替わりによらずに仕事の所定の品質が得られる。

【0010】

印刷の効率化を図ることができる。

【0011】

【問題を解決するための手段】

請求項1に係る本発明の最適業務達成方法は、基本イメージ情報、基本テキスト情報、期限管理情報、最新情報、詳細履歴情報並びに基本情報編集の各画面を使用して最適な業務を達成するための最適業務達成方法であって、該方法は、基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面並びに期限管理画面から詳細履歴画面に遷移する工程、並びに基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面、期限管理画面から基本情報編集画面に遷移する工程及び又は詳細履歴画面から基本情報編集画面に遷移する工程と、前記各情報画面を企業の担当者及び代理人との間で共有化して同じ業務環境で最適な作業を行うための情報を伝達するための通信工程とを備えることを特徴とする。

【0012】

請求項2に係る本発明の最適業務達成方法は、基本イメージ情報、基本テキスト情報、期限管理情報、最新情報、詳細履歴情報並びに基本情報編集の各画面を使用して最適な業務を達成するための最適業務達成方法であって、該方法は、基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面並びに期限管理画面から詳細履歴画面に遷移する工程、並びに基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面、期限管理画面から基本情報編集画面に遷移する工程及び又は詳細履歴画面から基本情報編集画面に遷移する工程を備えることを特徴とする。

【0013】

請求項3に係る本発明の最適業務達成方法であって、基本イメージ画面、基本テキスト画面、期限管理画面、最新情報画面、詳細履歴画面並びに基本情報編集画面において、各画面間の遷移は、プルダウン方式で行われることを特徴とする

【 0 0 1 4 】

請求項 4 に係る本発明の最適業務達成方法であって、基本イメージ画面、基本テキスト画面、期限管理画面、最新情報画面、詳細履歴画面において表示した結果のデータの検索、並べ替え、案件の割り込み、並びに割り込み解除を行う工程を備えることを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

請求項 5 に係る本発明の最適業務達成方法であって、前記基本イメージ画面は、基本情報作成画面、基本情報編集画面、履歴作成画面、詳細履歴画面に遷移する工程を備えることを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

請求項 6 に係る本発明の最適業務達成方法であって、基本テキスト画面は、基本情報作成画面、基本情報編集画面、履歴作成画面、詳細履歴画面に遷移する工程を備えることを特徴とする。

【 0 0 1 7 】

請求項 7 に係る本発明の最適業務達成方法であって、期限管理画面は、詳細履歴画面に遷移する工程を備えることを特徴とする。

【 0 0 1 8 】

請求項 8 に係る本発明の最適業務達成方法であって、最新情報画面は、履歴作成画面、詳細履歴画面に遷移する工程を備えることを特徴とする。

【 0 0 1 9 】

請求項 9 に係る本発明の最適業務達成方法であって、前記基本情報編集画面は、基本情報新規登録、基本情報編集、基本情報編集削除、キーワード編集を行うことを特徴とする。

【 0 0 2 0 】

請求項 1 0 に係る本発明の最適業務達成方法であって、前記基本情報編集画面において、基本情報編集は編集する案件のチェックボックスをチェック選択して編集ボタンを実行して行われることを特徴とする。

【 0 0 2 1 】

請求項 1 1 に係る本発明の最適業務達成方法であって、前記履歴作成画面は、1 つの案件について所定のステータス業務を実施する第 1 新規履歴情報画面を作成する工程と、前記任意のステータスを元に次の仕事を自動的に計算して当該業務のスケジュールを管理する第 2 新規履歴情報画面を作成する工程とさらに備えることを特徴とする。

【0 0 2 2】

請求項 1 2 に係る本発明の最適業務達成方法であって、基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面から新規履歴作成画面に遷移する工程を備えることを特徴とする。

【0 0 2 3】

請求項 1 3 に係る本発明の最適業務達成方法であって、前記詳細履歴工程は、履歴編集工程を備え、該履歴編集は、基本情報履歴一覧のチェックボックスをチェック選択することにより行なわれることを特徴とする。

【0 0 2 4】

請求項 1 4 に係る本発明の最適業務達成方法であって、履歴に関係のあるファイルを履歴画面に添付することができることを特徴とする。

【0 0 2 5】

請求項 1 5 に係る本発明の最適業務達成方法であって、クラス通常画面、クラス国際還元画面、更新管理画面をさらに備えることを特徴とする。

【0 0 2 6】

請求項 1 6 に係る本発明の最適業務達成方法であって、クラス通常画面、クラス国際還元画面、更新管理画面は、詳細履歴画面に遷移する工程を備えることを特徴とする。

【0 0 2 7】

請求項 1 7 に係る本発明の最適業務達成方法であって、クラス通常画面、クラス国際還元画面は、キーワード編集画面に遷移する工程を備えることを特徴とする。

【0 0 2 8】

請求項 1 8 に係る本発明の成果物は、前記請求項 1 又は 2 記載の最適業務達成

方法で得られる商標管理である。

【0029】

請求項19に係る本発明の成果物は、前記請求項1又は2記載の最適業務達成方法で得られる成果物は特許管理である。

【0030】

~~請求項20に係る本発明の成果物は、前記請求項1又は2記載の最適業務達成方法で得られる成果物は特許管理である。~~

【0031】

請求項21に係る本発明の最適成果達成装置は、基本イメージ情報、基本テキスト情報、期限管理情報、最新情報編集並びに履歴情報の各画面を使用して最適な業務を達成するための最適業務達成装置であって、該装置は、基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面並びに期限管理画面から詳細履歴画面に遷移する装置、並びに基本テキスト画面、基本イメージ画面、最新情報画面並びに期限管理画面から基本情報編集画面に遷移する装置及び又は詳細履歴画面から基本情報編集画面に遷移する装置を備えるコンピューター装置と、前記各情報画面を企業の担当者及び代理人との間で共有化して同じ業務環境で最適な作業を行うための情報を伝達するために通信装置とを備えることを特徴とする。

【0032】

請求項22に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記コンピューター装置は、前記基本イメージ画面を基本情報作成画面、基本情報編集画面、履歴作成画面、詳細履歴画面に遷移する手段と、前記基本テキスト画面は、基本情報作成画面、基本情報編集画面、履歴作成画面、詳細履歴画面に遷移する手段と、前記期限管理画面は、詳細履歴画面に遷移する手段と、前記最新情報画面は、履歴作成画面、詳細履歴画面に遷移する手段とを備えることを特徴とする。

【0033】

請求項23に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記基本イメージ画面、基本テキスト画面、期限管理画面、最新情報画面は、メニュー欄と、基本情報データ一覧欄とを備えることを特徴とする。

【0034】

請求項 24 に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記詳細履歴画面は、メニュー欄と、基本情報履歴一覧欄とを備えることを特徴とする。

【0035】

請求項 25 に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記詳細履歴画面は、基本情報欄と詳細履歴情報欄とを備えることを特徴とする。

【0036】

請求項 26 に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記履歴作成画面は、第 1 新規履歴作成画面と第 2 新規履歴作成画面とを備え、前記第 1 新規履歴作成画面は、案件の基本情報欄と、新規履歴作成の作業項目を入力・選択する欄と、既存の詳細履歴欄とを備えることを特徴とする。

【0037】

請求項 27 に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記第 1 新規履歴作成画面は、発生日付け、FROM/TO の宛先選択、文書責任者選択、文書種類選択、情報選択、状態補足選択を備え、前記第 2 新規履歴作成画面は、前画面で確定した内容表示、現在の履歴、次の仕事に関する情報を備えることを特徴とする。

【0038】

請求項 28 に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記履歴作成画面は、続きの履歴作成画面をさらに備えることを特徴とする。

【0039】

請求項 29 に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記最新情報編集画面は、基本情報欄と、基本イメージ、基本テキスト、最新情報、期限管理にて選択された基本情報欄とを備えることを特徴とする。

【0040】

請求項 30 に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記基本イメージ画面のメニュー欄は、データグループ・画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、簡易検索、初期条件、1 解除、メインメニュー、ログアウト、登録証印刷、ダウンロード、問い合わせ、復帰、ページ切り替え、ページジャンプ、ヘルプを備えることを特徴とする。

【 0 0 4 1 】

請求項 3 1 に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記基本テキスト画面のメニュー欄は、データグループ・画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、簡易検索、初期条件、1 解除、メインメニュー、ログアウト、登録証印刷、ダウンロード、問い合わせ、~~復帰、ページ切り替え、ページジャンプ、ヘルプを備えることを特徴とする。~~

【 0 0 4 2 】

請求項 3 2 に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記最新情報画面のメニュー欄は、データグループ・画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、簡易検索、初期条件、1 解除、メインメニュー、ログアウト、登録証印刷、ダウンロード、問い合わせ、復帰、ページ切り替え、ページジャンプ、ヘルプを備えることを特徴とする。

【 0 0 4 3 】

請求項 3 3 に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記期限管理画面のメニュー欄は、データグループ・画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、簡易検索、初期条件、1 解除、メインメニュー、ログアウト、登録証印刷、ダウンロード、問い合わせ、復帰、ページ切り替え、ページジャンプ、ヘルプを備えることを特徴とする。

【 0 0 4 4 】

請求項 3 4 に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記詳細履歴（基本情報）画面のメニュー欄は、データグループ・画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、簡易検索、初期条件、1 解除、メインメニュー、ログアウト、登録証印刷、ダウンロード、問い合わせ、復帰、ページ切り替え、ページジャンプ、ヘルプを備えることを特徴とする。

【 0 0 4 5 】

請求項 3 5 に係る本発明の最適成果達成装置であって、前記詳細履歴（履歴情報）画面のメニュー欄は、データグループ・画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、データ表示画面切替、簡易検索、初期

条件、1解除、メインメニュー、ログアウト、登録証印刷、ダウンロード、問い合わせ、復帰、ページ切り替え、ページジャンプ、ヘルプを備えることを特徴とする。

【0046】

【作用】

~~各画面のメニュー欄の各ボタンは配色ごとに5種類に分かれており、各ボタンの機能は、以下の通りである。~~

【0047】

青—メイン画面・検索画面・登録証関連画面への遷移ボタン

- ・基本イメージ；基本イメージ画面へ遷移する。
- ・クラス通常；クラス通常画面へ遷移する。
- ・期限管理；期限管理画面へ遷移する。
- ・簡易検索；簡易検索画面へ遷移する。
- ・G o >；プルダウンから選択されたデータグループと画面へ遷移する。
- ・登録証閉じる；登録証画面を閉じる
- ・サムネイル画面へ；登録証詳細表示画面からサムネイル画面へ遷移する。

【0048】

緑—案件の絞り込み解除、その他画面への遷移ボタン

- ・メインメニュー；メインメニューへ遷移する。
- ・ログアウト；該データベースからログアウトする。
- ・G o >；プルダウンから選択されたお気に入りの検索条件を実行する。
- ・初期条件；絞り込みを初期条件（ログイン時の抽出条件）に戻す。
- ・1解除；最新の絞り込みを1回分のみ解除する。

【0049】

黄色—機能用ボタン

- ・登録証印刷；登録証を一括印刷する。
- ・ダウンロード；一括画面の表示データをCSV形式でダウンロードする。
- ・問い合わせ；問い合わせデータベースへ遷移する。
- ・復帰；エラー時や同期が取れなくなった場合に正常な状態まで戻す。

- ・ ヘルプ ; 該データベースヘルプシステムを起動させる。
- ・ 詳細印刷 ; 詳細履歴画面の基本情報を印刷する。

【0050】

赤ページ遷移ボタン

- ・ <NEXT ; 一覧表を1ページ戻す。
- ・ ~~NEXT> ; 一覧表を1ページ先送りする。~~
- ・ PageGo> ; 入力したページ番号へ遷移する。

ピンク履歴関連ボタン

- ・ <NEXT ; 履歴一覧表を1ページ戻す。
- ・ NEXT> ; 履歴一覧表を1ページ先送りする。
- ・ PageGo> ; 入力した履歴ページ番号へ遷移する。
- ・ 履歴全解除 ; 履歴文書の絞り込みを解除し、全ての履歴文書を表示する。
- ・ 履歴1解除 ; 履歴文書の絞り込みを1回分のみ解除する。

【0051】

以下に本発明で使用する用語を説明する。

SUB言語 ; 本データベース上の表記で特定の項目のみを変更する他の言語のことを指す。

【0052】

アンカー ; ハイパーリンクを意味し、クリックすると指定されている他の画面に遷移することができる。

【0053】

サムネイル画面 ; 複数の画面を小さいサイズで一覧表示することができる画面。

【0054】

データグループ ; 特許、商標、意匠、ライセンス、著作権、全体等などのグループに管理されている案件やその他のデータの集まり。

【0055】

デフォルト ; 本データベースが初期値として設定している初期条件を指す。

【0056】

一括編集；複数データの指定された一つの項目を一連の操作で同一又は異なった値に編集する。

【 0 0 5 7 】

クラス国際還元；案件のローカル分類を国際分類に還元することを指す。

【 0 0 5 8 】

~~指定商品／サービスキーワード；案件を出願・登録の際に指定する指定商品／サービスに対してキーワードを付ける。~~

【 0 0 5 9 】

指定商品／サービスキーワードマスター；登録している指定商品／サービス（キーワード）を一元管理しているマスター画面。

【 0 0 6 0 】

次に仕事；現在与えられている仕事が終了した際に、次にやるべき仕事を指す。

【 0 0 6 1 】

初期条件；初期条件ボタンをクリックすると、一覧画面ではログイン時の抽出画面に戻る。詳細履歴画面では、履歴が全データ表示される。

【 0 0 6 2 】

続きの履歴；既存の履歴に対する履歴のことを指し、一つの親履歴に複数の子履歴を作成することができる。

【 0 0 6 3 】

【発明の実施の形態】

本実施例は、商標の管理を例にして説明を行う。

【 0 0 6 4 】

図 1 は、本発明に係る最適業務達成装置を示す概略図である。

【 0 0 6 5 】

符号 1 0 0 は、本発明に係る最適業務達成装置であり、該装置は、最適な業務を達成するための情報を蓄積したデータベース 1 0 2 を備え主コンピュータ 1 0 4 と、上記コンピュータのアクセスするための代理人側の端末コンピュータ 1 0 6 と、企業側の端末コンピュータ 1 0 8 とを備え、これら主コンピュータ（例え

ば、Webサーバー)、各端末コンピュータ(例えば、Webサーバー)とは通信回線110(HTTP方式、HTTPS方式)で結ばれている。従って、代理人及び企業間とは同じ環境に置かれる状態が得られる。

【0066】

前記データベースは、基本イメージ情報、基本テキスト情報、クラス通常情報、~~クラス国際還元情報、期限管理情報、更新管理情報、最新情報、詳細履歴情報~~、基本情報編集情報、並びにこれら情報を使用して最適な業務を達成するためのソフトウェアを蓄積している。

【0067】

基本イメージ画面、基本テキスト画面、クラス通常画面、クラス国際還元画面、期限管理画面、更新管理画面、最新情報画面、を総呼してメイン一覧画面と言う。さらに詳細履歴画面を加えた画面を総呼してメイン画面と言う。各画面は、上段にメニュー欄を、下段に基本情報データ一覧を表示している。

【0068】

基本イメージ画面200は、案件の全体像を掴むための必要な情報が表示される画面であり、案件を商標イメージ付きで一覧することができる。この画面から案件の作成画面、案件の基本情報編集画面、履歴の作成画面、登録証の閲覧を行う画面、及び詳細履歴画面に遷移することができる。基本イメージ画面は、図1に示される。該図における各画面のメニューフレーム欄におけるボタンの種類とその機能を説明する。

【0069】

基本イメージ画面は図2を使用して説明される。

符号1は、基本情報編集(基本情報編集画面へ遷移、コマンド;ボタン)を示す。

【0070】

符号2は、履歴作成(基本情報に対する履歴作成画面へ遷移、コマンド;ボタン)を示す。

【0071】

符号3は、基本情報作成(基本情報作成画面へ遷移、コマンド;ボタン)を示す。

す。

【0072】

符号4は、一括編集（複数の基本情報の一部を一括で編集・置換する一括編集画面へ遷移、コマンド；ボタン）を示す。

【0073】

~~符号5は、SUB言語切替（項目と一部データの日英表現切替、コマンド；ボタン）を示す。~~

【0074】

符号6は、印刷（一覧表示ページの情報を印刷、コマンド；ボタン）を示す。

【0075】

符号7は、★チェックボックスの実行（任意のレコードを選択し、該ボタン押下によりレコードを絞り込む、コマンド；ボタン）を示す。

【0076】

符号8は、ラジオボタン検索（現在のレコードセットに対し該表示画面の項目内の検索（部分一致）を可能とする、コマンド；ラジオボタン）を示す。

0077】

符号9は、項目別並替（該表示画面項目のアンカークリックによる表示画面内データ並替（昇／降順、コマンド；アンカー）を示す。

【0078】

符号10は、データグループ・画面切替（DG／画面の2つのドロップダウンを選択し、「GO」ボタンを押下し、該データ表示画面へ遷移、コマンド；ドロップダウン＋アイコン）を示す。

【0079】

符号11は、データ表示画面切替【1. 基本イメージ】（使用頻度の高いデータ表示画面への遷移をアイコン化、アイコンを押下することにより簡易・迅速に該データ表示画面へ遷移する。コマンド；アイコン）を示す。

【0080】

符号12は、データ表示画面切替【2. クラス通常】（使用頻度の高いデータ表示画面への遷移をアイコン化、アイコンを押下することにより簡易・迅速に該

データ表示画面へ遷移する。コマンド；アイコン）を示す。

【0 0 8 1】

符号 1 3 は、データ表示画面切替【3. 期限管理】（使用頻度の高いデータ表示画面への遷移をアイコン化、アイコンを押下することにより簡易・迅速に該データ表示画面へ遷移する。コマンド；アイコン）を示す。

【0 0 8 2】

符号 1 4 は、データ表示画面切替【4. 詳細履歴】（使用頻度の高いデータ表示画面への遷移をアイコン化、アイコンを押下することにより簡易・迅速に該データ表示画面へ遷移する。コマンド；アイコン）を示す。

【0 0 8 3】

符号 1 5 は、簡易検索（簡易検索画面へ遷移、コマンド；アイコン）を示す。

【0 0 8 4】

符号 1 6 は、初期条件（アイコン押下によりログイン後、最初の検索条件設定を実現する。コマンド；アイコン）を示す。

【0 0 8 5】

符号 1 7 は、1 解除（繰り返し現在のレコードセットに対し可能な検索画面・チェックボックスによる絞り込みを 1 段階ずつ解除する。コマンド；アイコン）を示す。

【0 0 8 6】

符号 2 0 は、お気に入り検索・並替条件（簡易及び詳細検索画面での検索・並替条件を登録しておき、該データ表示画面で検索登録名をプルダウン選択することにより、簡易・迅速に該データ表示画面のレコードセットを変化させることが可能である。コマンド；ドロップダウン＋アイコン）を示す。

【0 0 8 7】

符号 2 1 は、メインメニュー（メインメニュー画面へ遷移。コマンド；アイコン）を示す。

【0 0 8 8】

符号 2 2 は、ログアウト（ログアウト画面へ遷移。その際、ログアウト直前の該データ表示画面・レコードセットを記憶し、次回ログイン時には「前回の続き

」を選択することにより前回の作業状態を容易に再現する。コマンド；アイコン）を示す。

【0089】

符号23は、ページ切替（現在表示しているページの前後のページへ遷移。コマンド；アイコン）を示す。

【0090】

符号24は、ページジャンプ（現在表示しているページからテキストボックスに遷移したいページ数を入力し、「PAGE GO」ボタンを押下することにより該ページへ遷移。コマンド；アイコン）を示す。

【0091】

符号25は、復帰（画面の表示状態（プログラムの整合性）が正常でなくなったとき、「復帰」ボタンを押下することにより以前に記憶している正常なデータ表示まで復帰すり機能。コマンド；アイコン）を示す。

【0092】

符号26は、登録証印刷（チェックボックスで選択したレコードの登録証イメージを、非表示のまま一括印刷することが可能。コマンド；アイコン）を示す。

【0093】

符号27は、ダウンロード（現在抽出しているレコードセットをCSV形式でダウンロードする。ユーザーの使用しているアプリケーションソフトに呼び込み自在にデータ編集データすることが可能。）を示す。

【0094】

符号28は、ヘルプ（ヘルプ画面に遷移。メインメニューのヘルプはヘルプ目次画面に遷移。それ以外からのボタン押下時は、別ブラウザ起動し、ヘルプボタン押下した表示画面の内容に応じたヘルプ項目を表示。コマンド；アイコン。）を示す。

【0095】

符号29は、問い合わせ（本システム使用にあたり、ユーザーは当社の質問を記録し、返答した内容を一欄表示する質問内容一覧画面に遷移。コマンド；アイコン）を示す。

【0096】

符号31は、登録証表示（データ表示一覧画面のC r e fデータアンカー押下により該レコード登録証表示サムネイル画面へ遷移。詳細履歴画面からは登録証表示の○印データアンカー押下により同画面へ遷移。コマンド；データアンカー）を示す。

【0097】

符号32は、詳細履歴画面遷移（データ表示一覧画面のTMデータアンカー押下により該レコード詳細履歴画面へ遷移。コマンド；データアンカー）を示す。

【0098】

基本テキスト画面は、案件の全体像を掴むための必要な情報が表示される画面であり、案件を商標イメージなしで一覧することができる。この画面から案件の作成画面、案件の基本情報編集画面、履歴の作成画面、登録証の閲覧を行う画面、及び詳細履歴画面に遷移することができる。

【0099】

基本テキスト画面300は、図3に示される。該図における各画面のメニューフレーム欄におけるボタンの種類とその機能を説明する。なお、基本イメージ画面と同じボタン種は同じ符号を付与すると共に機能の説明は省略する。

【0100】

符号1；基本情報編集、符号2；履歴作成、符号3；基本情報作成、符号4；一括編集、符号6；印刷、符号7；★チェックボックスの実行、符号8；ラシオボタン検索、符号9；項目別並替、符号10；データグループ・画面切替、符号11；データ表示画面切替【1. 基本イメージ】、符号12；データ表示画面切替【2. クラス通常】、符号13；データ表示画面切替【3. 期限管理】、符号14；データ表示画面切替【4. 詳細履歴】、符号15；簡易検索、符号16；初期条件、符号17；1解除、符号20；お気に入り検索・並替条件、符号21；メインメニュー、符号22；ログアウト、符号23；ページ切替、符号24；ページジャンプ、符号25；復帰、符号26；登録証印刷、符号27；ダウンロード、符号28；ヘルプ、符号29；問い合わせ、符号31；登録証表示、符号32；詳細履歴画面遷移。

【0101】

最新情報画面は、案件の最新の進行状況を一覧表示することができる画面であり、現在の案件の審査の状況を表示し、誰が、何を、いつまでに、行わなければならないなどの情報を表示します。この画面から、案件の基本情報編集画面、登録証の閲覧を行う画面、詳細履歴画面、履歴新規入力を行う画面に遷移することができる。

【0102】

最新情報画面400は、図4に示される。該図における各画面のメニューフレーム欄におけるボタンの種類とその機能を説明する。なお、基本イメージ画面と同じボタン種は同じ符号を付与すると共に機能の説明は省略する。

【0103】

符号1；基本情報編集、符号2；履歴作成、符号6；印刷、符号7；★チュックボックスの実行、符号8；ラジオボタン検索、符号9；項目別並替、符号10；データグループ・画面切替、符号11；データ表示画面切替【1．基本イメージ】、符号12；データ表示画面切替【2．クラス通常】、符号13；データ表示画面切替【3．期限管理】、符号14；データ表示画面切替【4．詳細履歴】、符号15；簡易検索、符号16；初期条件、符号17；1解除、符号20；お気に入り検索・並替条件、符号21；メインメニュー、符号22；ログアウト、符号23；ページ切替、符号24；ページジャンプ、符号25；復帰、符号26；登録証印刷、符号27；ダウンロード、符号28；ヘルプ、符号29；問い合わせ、符号31；登録証表示、符号32；詳細履歴画面遷移。

【0104】

期限管理画面は、案件の期限管理を一覧表示することができる画面であり、前回の状態と次の仕事の内容と期限、責任者を明確にすることができる。この画面から案件の基本情報編集画面、登録証の閲覧を行う画面、及び詳細履歴画面に遷移することができる。

【0105】

期限管理画面500は、図5に示される。該図における各画面のメニューフレーム欄におけるボタンの種類とその機能を説明する。なお、基本イメージ画面と

同じボタン種は同じ符号を付与すると共に機能の説明は省略する。

【0106】

符号1；基本情報編集、符号6；印刷、符号7；★チェックボックスの実行、符号8；ラジオボタン検索、符号9；項目別並替、符号10；データグループ・画面切替、符号11；データ表示画面切替【1．基本イメージ】、符号12；データ表示画面切替【2．クラス通常】、符号13；データ表示画面切替【3．期限管理】、符号14；データ表示画面切替【4．詳細履歴】、符号15；簡易検索、符号16；初期条件、符号17；1解除、符号20；お気に入り検索・並替条件、符号21；メインメニュー、符号22；ログアウト、符号23；ページ切替、符号24；ページジャンプ、符号25；復帰、符号26；登録証印刷、符号27；ダウンロード、符号28；ヘルプ、符号29；問い合わせ、符号31；登録証表示、符号32；詳細履歴画面遷移。

【0107】

クラス通常画面は、各案件の出願・登録のクラスごとにデータを分け、その指定商品／サービスキーワードと指定商品／サービスの詳細情報を一覧で見ることが出来る画面（キーワードマスター）である。この画面から案件の編集画面、キーワード編集画面、登録証を閲覧する画面、詳細履歴画面に遷移することができる。

【0108】

クラス国際還元画面は、各案件の出願・登録のクラスごとにデータを分け、更に、それぞれのローカルクラスを国際クラスに還元されたものを表示し、その指定商品／サービス（キーワード）と指定商品／サービスの詳細情報を一覧で見ることが出来る画面（キーワードマスター）である。この画面からキーワード編集画面、詳細履歴画面、登録証を閲覧する画面、詳細履歴画面に遷移することができる。

【0109】

更新管理画面は、案件の更新管理を行うことができる画面であり、案件ごとに更新手続の可否と更新手続の期限管理を表示し、現在の更新手続状況を一覧することができる。この画面から履歴の新規入力、登録証の閲覧を行う画面、案件の

基本情報編集画面、詳細履歴画面に遷移することができる。

【0110】

詳細履歴画面は、基本情報画面及び履歴情報画面を備え、一つの案件に関する全ての履歴を管理することができる画面です。

【0111】

~~詳細履歴画面は、案件の詳細情報を上段に表示し、下段に案件の状態や審査を~~
表わす履歴を表示する。この画面から案件の基本情報編集画面、LS検索、履歴の作成編集、関連付け関連付けクリア、クラス編集、登録証編集、キーワード編集、レコード削除、商標編集を行う画面に遷移することができる。

【0112】

図6は詳細履歴画面600を示す。該図における各画面のメニューフレーム欄におけるボタンの種類とその機能を説明する。なお、基本イメージ画面と同じボタン種は同じ符号を付与すると共に機能の説明は省略する。

【0113】

符号1；基本情報編集、符号10；データグループ・画面切替、符号11；データ表示画面切替【1. 基本イメージ】、符号12；データ表示画面切替【2. クラス通常】、符号13；データ表示画面切替【3. 期限管理】、符号14；データ表示画面切替【4. 詳細履歴】、符号15；簡易検索、符号20；お気に入り検索・並替条件、符号21；メインメニュー、符号22；ログアウト、符号23；ページ切替、符号24；ページジャンプ、符号25；復帰、符号26；登録証印刷、符号27；ダウンロード、符号28；ヘルプ、符号29；問い合わせ、符号30；詳細印刷（基本情報詳細のレイアウトを成形して印刷。コマンド；アイコン）、符号31；登録証表示。

【0114】

図7は詳細履歴（履歴）画面を示す。該図における各画面のメニューフレーム欄におけるボタンの種類とその機能を説明する。なお、基本イメージ画面と同じボタン種は同じ符号を付与すると共に機能の説明は省略する。

【0115】

符号2；履歴作成、符号6；印刷、符号7；★チェックボックスの実行、符号

8 ; ラジオボタン検索、符号 9 ; 項目別並替、符号 1 0 ; データグループ・画面切替、符号 1 1 ; データ表示画面切替【1. 基本イメージ】、符号 1 2 ; データ表示画面切替【2. クラス通常】、符号 1 3 ; データ表示画面切替【3. 期限管理】、符号 1 4 ; データ表示画面切替【4. 詳細履歴】、符号 1 5 ; 簡易検索、符号 1 8 ; 全解除（履歴）（詳細履歴の履歴レコードの絞り込みを全ての表示可能なレコードセットに解除する。コマンド；アイコン）、符号 1 9 ; 1 解除（履歴）（繰り返し可能な詳細履歴の履歴レコードの絞り込みを 1 段階解除する。コマンド；アイコン）、符号 2 1 ; メインメニュー、符号 2 2 ; ログアウト、符号 2 3 ; ページ切替、符号 2 4 ; ページジャンプ、符号 2 5 ; 復帰、符号 2 6 ; 登録証印刷、符号 2 8 ; ヘルプ、符号 2 9 ; 問い合わせ、符号 3 1 ; 登録証表示。

【0 1 1 6】

以上の画面から構成されるデータベースにおいて案件データにアクセスする開始方法を以下に説明する。

本データベースをログインすると、メインメニュー画面に遷移する。該画面からデータグループ選択を選択する。データグループ選択をクリックするとデータグループスタートメニュー画面に遷移する。スタート方法は、（1）一搬的な方法（任意の方法）、（2）お気に入りの方法、（3）前回からの続き、の 3 通りがある。

【0 1 1 7】

まず、一搬的な方法（任意の方法）でスタートをクリックする。実行すると簡易検索画面に遷移する。簡易検索画面では、データグループ、画面名、C r e f、自社番号、登録番号、出願番号、国、タイトル、クラスを選択することにより希望のデータを表示させることができる。データグループとして商標、画面として基本イメージを選択、そしてクラスに 9 を入力して検索実行をクリックする。かくして、基本イメージ画面に遷移し、該当するデータが表示される。

【0 1 1 8】

次に、お気に入りの方法は、前もって登録されている検索条件と表示画面を選択することによりスタートする。

【0 1 1 9】

検索条件、並べ替え、データグループ、画面の組み合わせをお気に入りの方法として登録し、プルダウンメニューから選択をする。まず、お気に入りの作成するには、メインメニュー画面のデータグループ選択をクリックし、データグループスタート画面に遷移する。データグループスタート画面にて任意の方法でスタートをクリックし、簡易検索画面に遷移する。簡易検索画面にてお気に入り方法として登録するデータグループ；商標、画面；基本イメージ画面、その他の検索条件；クラス9、並び順；変更なしを設定する。

【0120】

なお、詳しい検索条件を設定したい場合、詳しい検索条件の設定ボタンをクリックする。登録名欄にお気に入りの方法名；基本イメージ クラス9を入力し、検索条件登録ボタンをクリックする。検索条件設定の確認画面が表示され、登録が完了する。

【0121】

お気に入り方法をスタートするには、データグループスタートメニュー画面が表示されていることを確認する。検索条件設定の確認画面が表示されている場合は、次の作業を行なう。検索条件設定の確認画面の戻るボタンをクリックして登録条件一覧画面へ、登録条件一覧画面の戻るボタンをクリックして詳細検索画面へ、詳細検索画面の簡易検索条件ボタンをクリックして簡易検索画面へ、簡易検索画面の戻るボタンをクリックしてデータグループスタートメニュー画面を表示する。そして、データグループスタートメニュー画面のお気に入りの方法でスタートにあるプルダウンメニューにある基本イメージ クラス9を選択し、実行ボタンをクリックする。基本イメージ画面に遷移し、検索条件に該当するデータ（クラス9）が表示される。

【0122】

次に前回の続きからスタートは、前回ログアウトした際の検索条件と表示画面からスタートさせる方法です。データグループスタートメニュー画面にて前回の続きからスタートをクリックすると、前回ログアウトした時と同じ状態の画面を表示する。

【0123】

次に、メイン一覧画面の操作について説明を行う。

メイン一覧画面の操作は、データの検索、データの並べ替え、データの絞り込み、絞り込み解除、登録証の参照からなる。ここで基本イメージ画面を例にして操作を説明する。

【0124】

まず、データの検索をする。基本イメージ画面のメニューフレームにある簡易検索ボタンをクリックすると簡易検索画面に遷移する。簡易検索画面にてC r e f、自社番号、登録番号、出願番号、国、タイトル、クラスを指定する。検索条件を入力して検索実行ボタンをクリックするとデータベースから検索条件にあったレコードが表示される。なお、I Lの検索は、簡易検索画面では行うことができないので、簡易検索画面にある詳しい検索条件の設定ボタンをクリックして詳細検索画面に遷移する。そして、詳細検索画面の下部にある詳細検索登録のD B項目欄のプルダウンメニューからI Lを選択し、右側の空欄にLを記入し、検索実行ボタンをクリックする。かくして、基本イメージ画面に遷移して検索条件に該当するデータを表示させることができる。なお、簡易・詳細検索画面によるデータ検索は、絞り込み検索です。簡易検索ボタンをクリックすると、現在選択されているデータの中から検索が実行される。

【0125】

簡易・詳細検索画面によるデータ検索を基本イメージ画面から説明したが、同じデータ検索は、基本テキスト画面、期限管理画面、更新管理画面、最新情報画面、クラス通常画面、クラス国際還元画面においても同じ手順にて実行することができる。詳細履歴画面からの検索のみデータグループと画面の選択を行うことができる。

【0126】

次に、一欄画面の項目名称の左側にラジオボタンがある場合、その項目内の検索を行うことができる。ラジオボタンによる項目内の検索を行なう場合、まず、項目名称の左側のラジオボタンをクリックする。検索する値を記入し、検索ボタンをクリックする。例えば、国名に韓国を持つデータを検索する場合、国名欄のラジオボタンをクリックするとダイアログボックスが表示されるので、検索を

したい値、韓国を入力して検索ボタンをクリックする。検索結果として該当する案件の背景が色分け表示される。

【0 1 2 7】

また、一欄表の一番上にある項目名称に下線があるものは、昇降順に並べ替え（ソート）を行うことができる。例えば、国名とTMで並べ替えを行う場合、項目名称の国名をクリックすると、昇順に並べ替えられる。もう一度、国名をクリックすると降順に並べ替えられる。更にもう一度国名をクリックするとまた昇順となる。TMをクリックすると、国名が昇順のまま、TMも昇順に並べ替えられる。

【0 1 2 8】

並べ替えは、最大5段階まで行うことができる。6段階目の並べ替えを行うと、一段階目として処理される。現在の並べ替えの条件は、一欄表の左上に表示される。項目内の検索は、1項目の検索に限定される。また、この検索によるデータの絞り込みは行うことができない。また、色分け表示は、別の項目を並べ替える、もしくは新たに項目内検索を行うと解除されます。

【0 1 2 9】

さらに、簡易・詳細検索画面の並び順に並べ替えたい順番を書き込むことでデータを並べ替えることができる。デフォルトでは、C r e f、国、タイトル、カテゴリの順で並べられる。簡易・詳細検索による並べ替えを行う場合、メニューフレームの簡易検索ボタンをクリックする。簡易検索画面（簡易検索画面がない場合、「詳しい検索条件の設定」ボタンをクリックし、詳細検索画面に遷移）に並べ替えたい順番を「並び順」に記入して、検索実行ボタンをクリックする。

【0 1 3 0】

例えば、カテゴリ、タイトル、国、C r e fの順で並べ替える場合、メニューフレームにある簡易検索ボタンをクリックして簡易検索画面に遷移する。簡易検索画面の並び順にあるC r e fに4、国に3、タイトルに2、カテゴリに1を入力する。そして検索実行ボタンをクリックすると、基本イメージ画面に新しく並べ替えられたデータが表示される。

【0 1 3 1】

データの絞り込みは以下のようにして行う。

絞り込みたいレコードの左端にあるチェックボックスをチェック選択して実行ボタンをクリックする。例えばC r e f が 1～3 の案件を絞り込む場合、絞り込み表示する案件データC r e f 1～3 の左端にあるチェックボックスをチェック選択して実行ボタンをクリックする。これにより、選択された案件データのC r e f 1～3 のみが表示される。絞り込み後の再絞り込みは、何度でも可能です。絞り込みは、一欄画面において項目内のデータの検索は全て同じ手順で行うことができる。また、簡易・詳細検索画面から検索条件を設定することによりデータを絞り込むこともできる。

【0 1 3 2】

データの絞り込みを行った場合に絞り込みを解除することができる。データの絞り込みの解除において、メニューフレームの「1 解除」；絞り込みを一回解除します。「全解除」；ログインの際に簡易・詳細検索で行なった抽出条件に戻る。例えば、C r e f が 1 の案件データを絞り込んで、それを解除する場合、上記実行した【データの絞り込み】を行い、C r e f が 1 の案件データを絞り込みます。メニューフレームの「1 解除」ボタンをクリックすると、絞り込みが解除され、C r e f が 1～3 の案件データが表示される。「全解除」ボタンをクリックすると、全ての絞り込みが解除され、ログイン後の検索条件であるクラスが「9」の案件データが表示されます。

【0 1 3 3】

各案件に登録証、英訳書、公報等の資料が登録されている場合、メインの一欄画面のC r e f をクリックする。例えば、C r e f が 1 の案件データの登録証を参照する。まず、登録証、英訳書などを参照したい案件のC r e f 1 をクリックすると、登録証イメージ編集画面に遷移します。C r e f が、1 案件に登録されている登録証などが表示される。そして、メニューフレームの「戻る」ボタンをクリックすると、「基本イメージ画面」に戻る。登録証イメージ編集画面でイメージのキーワードや表示順を編集することができる。一欄画面において登録証の参照は全て同じ手順で行うことができる。

【0 1 3 4】

詳細履歴画面を以下に述べる。

図 7 は、遷移関係図を示す。該図に示されるように、詳細履歴画面 600 は、基本イメージ画面 200、基本テキスト画面 300、最新情報画面 400、期限管理画面 500 の画面から、さらにはクラス通常画面、クラス国際還元画面、更新期限画面から遷移することができる。さらに、詳細履歴画面 600 から基本情報編集画面 700 に遷移することができる。

【0135】

履歴作成画面は、新規履歴作成（1）画面（図 8）と、新規履歴作成（2）画面（図 9）を備える。新規履歴作成（1）画面は、上段の基本情報欄と、中段の新規履歴作成（1）の作業項目欄と、下段の選択案件の詳細履歴欄とを備える。

【0136】

新規履歴作成（1）の作業項目は、発生日付け、FROM/TO の宛先選択、文書責任者選択、文書種類選択、情報 KW 選択、状態補足 KW 選択を備える。これらは、ドロップダウン方式で表示される。ここで、FROM/TO の宛先選択、文書責任者選択において、ドロップダウン方式で過去の値を表示する。

【0137】

FROM/TO の宛先選択及び文書責任者選択画面は、住所録参照・選択画面に遷移し、該画面より住所録参照・選択を実行する。該住所録参照・選択画面は、（1）上段の基本情報欄と、中段の検索処理欄と、下段の選択案件の履歴、（2）上段の基本情報欄と、中段の参照一覧欄と、下段の選択案件の履歴、（3）上段の基本情報欄と、中段の詳細表示欄と、下段の選択案件の履歴を備える。

【0138】

新規履歴作成（2）画面は、上段の基本情報欄と、中段の新規履歴作成（2）の作業項目欄と、下段の選択案件の詳細履歴欄とを備える。新規履歴作成（2）の作業項目は、前画面で確定した内容表示、現在の履歴、次の仕事に関する情報を備える。さらに、現在の履歴は、イベント kw 選択、仕事の完了日、対象クラス、コメント入力項目を備える。③次の仕事は、次の仕事選択、次の仕事担当選択、次の仕事開始予定日、次の仕事終了予定日、添付ファイル登録、詳細レター作成を備える。ここで、イベント kw 選択及び次の仕事選択は、次の仕事を計算

／ドロップダウンし、任意入力／テキストボックスを備える。該次の仕事選択画面は、さらに上段の基本情報欄と、中段のkw一覧参照・選択、任意のkw入力欄と、下段の選択案件の詳細履歴欄とを備える。

【0139】

なお、新規履歴作成（2）画面において進行kw（キーワード）＝「登録完了」を選択した場合のみ更新登録画面に遷移できる。該更新登録画面は、上段の基本情報欄と、中段の更新データ登録欄と、下段の選択案件の詳細履歴欄とを備える。

ここで、更新データ登録欄は、左欄に更新に関する情報表示（更新手続前）、右欄に更新に関する情報入力（更新手続後）を備え、さらに右欄の更新に関する情報入力項目は、日付けデータ入力、I／L選択、このGSで更新、クラス編集を備え、該クラス編集画面は、上段の基本情報欄と、中段の更新データ登録欄と、下段の選択案件の詳細履歴欄とを備える。ここで、更新データ登録欄は、左欄にクラス・GS情報表示（更新手続前）、右欄にクラス・GS情報入力（更新手続後）を備え、さらに右欄のクラス・GS情報入力項目は、新規クラス追加、クラス削除、上記クラス内GS編集を備える。

【0140】

詳細履歴画面への遷移の操作するには、まず詳細履歴を参照する案件のTM（商標）をクリックする。例えば、基本情報や履歴情報を参照したい案件（Crefが5）のTMをクリックすると、詳細履歴画面に遷移して選択した案件の基本情報と詳細履歴情報が表示される。

【0141】

なお、メニューフレームの基本イメージボタンをクリックすると、基本イメージ画面に戻る。

【0142】

次に、案件の状態やステータス状況、誰が誰に何を依頼し、それがいつ完了したなどを表わす履歴を作成する操作を説明する。ここでは、Crefが2～4以外の案件に履歴を作成する。

【0143】

まず、基本イメージ画面においてお好みの案件をチェック選択し、履歴作成ボタンをクリックすると、新規履歴作成（１）画面に遷移する。次に、上段に履歴を作成中の案件の基本情報要約、中断に新規履歴作成の作業項目を入力・選択する画面、下段には既存の詳細履歴が表示される。中断の画面にて状態日付け、文書種類をプルダウンメニューから通常を選択し、作成する履歴は誰からのアクションなのかを表わすFROMに宛先を入力するために宛先選択（FROM）ボタンをクリックする。

【0144】

次に、住所録一覧画面に遷移し、選択する住所情報の左側にあるラジオボタンをチェックし、選択をクリックすると新規履歴作成（１）画面に戻り、選択された住所情報がFROMに入力される。次に、履歴文書の責任者を表わす文書責任者を入力するために選択（責任者）をクリックし、作成する履歴は誰へのアクションなのかを表わすTOに入力するために宛先選択（TO）をクリックし、上記の操作を繰り返す。次に、履歴文書の責任者を表わす文書責任者を入力するために、選択（責任者）をクリックし、作成する履歴は誰のアクションなのかを表わすTOに入力するために宛先選択（TO）をクリックし、上記④の操作を繰り返す。次に、履歴画面の情報の種類となるキーワード選択プルダウンメニューから登録手続を選択すると、ステータス補足となるもう一つのキーワードが自動的に表示される。プルダウンメニューから受注処理を選択し、作成をクリックする。

【0145】

次に、新規履歴作成（２）画面にてステータスの詳細を表わすキーワードをキーワード選択プルダウンメニューから選択をする。このプルダウンメニューに希望のキーワードがない場合は、その他のキーワード一覧参照をクリックして、その他のキーワード一覧参照選択画面に遷移する。次に、作成中の履歴がどのクラスを対象にしているのかを表示する対象クラスを入力する（案件が複数のクラスを持つ場合、どのクラスを対象に履歴が作られたかを明確にするため）。

【0146】

次に、新規履歴作成（１）画面にて指定した文書種類がコメントに入力欄に表示されます。ここで、作成中の履歴文書に対するコメントを入力する。次に、次

の仕事計算をクリックする。選択した各種キーワードを元に次の仕事を自動計算し、次の仕事プルダウンメニューに表示される。ここでは、出願指示を選択する。次に、次の仕事に対する担当は誰なのかを表わす次の仕事の担当を入力するために宛先選択（次の仕事）をクリックする。

【0147】

次に、~~次の仕事の開始予定と次の仕事の終了予定を入力する。~~なお、作成中の履歴で既に仕事が完了している場合は、その日付けを入力する。また、履歴に係のあるファイルを履歴に添付することができる。添付するファイルがない場合は、OKをクリックして▲18▼に進む。添付ファイル登録をクリックすると添付ファイル登録画面に遷移する。そして、参照をクリックするとファイルの選択ウィンドが表示され、添付するファイルを指定する。添付ファイルに対するコメントを入力し、添付ファイル登録をクリックすると新規履歴作成（2）画面に戻る。新規履歴作成（2）画面にて、OKをクリックすると詳細履歴作成確認画面に遷移し、内容を確認後、OKをクリックすると、新規履歴の作成が実行され詳細履歴作成画面に遷移する。

【0148】

履歴を新規に作成する操作を以下に説明する。

まず、編集対象履歴をチェックし履歴編集ボタンをクリックして新規履歴作成（1）画面へ遷移する。次に、編集すべき情報を入力・選択してOKボタンをクリックする。次に詳細履歴作成確認画面にてOKボタンをクリックする。

【0149】

ここで、文書IDがお好みのID番号を編集する操作を説明する。まず、詳細履歴画面下段に表示されている履歴のうち、編集対象履歴の右側にあるチェックボックスをチェック選択し、履歴編集をクリックして新規履歴作成（1）画面に遷移する。新規履歴作成（1）画面にて、編集すべき欄を編集し、文書責任者は、選択（責任者）を、FROMは宛先選択（FROM）を、TOは宛先選択（TO）を、次の仕事の担当者は宛先選択（次の仕事）をクリックし住所録から選択・編集します。添付ファイルの編集は添付ファイル確認をクリックし添付資料ダウンロード画面にてOKボタンをクリックすると履歴の編集が実行され詳細履歴

作成確認画面に遷移する。ここで、OK ボタンをクリックすると詳細履歴画面に遷移する。なお、履歴編集画面は、図 12 に示される。

【0150】

次に、「続きの履歴」の新規作成操作を説明する。ここで、「続きの履歴作成 2 画面」は、図 11 に示される。ここで、既存の履歴に対する履歴を続きの履歴と呼び、~~一つの親履歴に複数の子履歴を作成することができる。操作に際して、~~まず編集対象履歴をチェックし履歴編集ボタンをクリックして新規履歴作成（1）画面に遷移する。編集すべき情報を入力・選択し OK ボタンをクリックし、次に詳細履歴作成確認画面にて OK ボタンをクリックする。ここで、文書 ID が好みの ID 番号を編集する操作を説明する。まず、続きの履歴を作成する元の履歴（文書 ID が好みの ID 番号）の左端にあるチェックボックスをチェック選択し、履歴作成をクリックして続きの履歴作成（1）画面に遷移する。そして、上段に履歴を作成中の案件の基本情報要約、中断に続きの履歴作成の作業項目を入力・選択する画面、下段には既存の詳細履歴は表示される。残りの操作は、上述の履歴の新規作成、履歴の編集を参照する。

【0151】

次に、案件の基本情報を編集することができる基本情報編集画面を説明する。図 12 は、遷移関係図を示す。該図に示されるように、基本情報編集画面 700 は、基本イメージ画面 200、基本テキスト画面 300、最新情報画面 400、期限管理画面 500 から遷移することができる。

【0152】

基本情報編集画面は、上段に基本情報（基本編集フレーム）が表示され、下段に基本イメージ画面、基本テキスト画面、最新情報一覧画面、期限管理画面、更新管理画面にて選択された基本情報が表示される。この画面にて基本情報編集、クラス編集、登録証編集、キーワード編集、商標編集、基本情報削除を行うことができる。

【0153】

図 13 は、メイン一覧画面から遷移した時の基本情報編集画面を示し、図 14 は、詳細履歴画面から遷移した時の基本情報編集画面を示す。

【0154】

基本編集フレームは次の項目画面を備える；クラス編集、キーワード編集、登録証編集、レコード削除、TM・商標イメージ登録／更新、住所録参照、国名選択。

【0155】

ここで、~~クラス編集は、クラス編集画面に遷移し、該画面より、クラス編集、~~
 クラス追加、クラス削除を実行できる。クラス編集は、クラス表示、GS編集、
 出願G／Sを備える画面に遷移して実行される。クラス追加は、クラス入力、G
 S入力、出願G／Sを備える画面に遷移して実行される。

【0156】

キーワード編集は、キーワード編集に遷移し、該画面よりキーワード種類選択、
 対象クラス選択後のキーワード編集を実行できる。キーワード種類選択及び対
 象クラス選択後のキーワード編集は、キーワードマスターの参照・選択画面に遷
 移して実行される。

【0157】

登録証（イメージ）編集は、サムネイル表示画面に遷移し、該画面よりページ
 入れ替え、イメージ削除、新規登録を実行できる。サムネイル表示は、編集行為
 の選択、作業方法の選択を実行できる。また、作業方法の選択をアップロードす
 ることによりイメージファイルをアップロードする。

【0158】

TM・商標イメージ登録／更新は、商標データ編集画面に遷移し、該画面によ
 り商標マスターの選択、新しい商標の登録を実行できる。商標マスターの選択は
 、商標データ参照・選択画面に遷移して実行される。新しい商標の登録は、商標
 イメージデータ登録画面に遷移して実行される。住所録参照は、住所録参照・選
 択画面に遷移して該画面より検索処理、参照一覧、詳細表示を備える画面に遷移
 して実行される。国名選択は、国名選択画面に遷移して該画面より国名選択を実
 行できる。

【0159】

まず、メイン一覧画面から基本情報編集画面へ遷移する操作を以下に説明す

る。基本イメージ画面、基本テキスト画面、最新情報一覧画面、期限管理画面、更新管理画面から案件の基本情報を編集することができる、基本情報編集画面へ遷移することができる。

【0160】

メイン一覧画面から基本情報編集画面へ遷移するには、一覧画面にて編集する案件をチェック選択し、基本情報編集ボタンをクリックする。ここで、基本イメージ画面の C r e f が 2 の案件の基本情報編集画面を参照する。まず、基本情報を編集した案件（C r e f が 2）の左端にあるチェックボックスをチェック選択をする。そして、基本情報編集ボタンをクリックすると、基本情報編集画面へ遷移し、選択された案件（C r e f が 2）の基本情報が表示される。基本情報編集画面上段下部にある戻るボタンをクリックすると基本イメージ画面に戻る。

【0161】

詳細履歴画面から基本情報編集画面への遷移を説明する。詳細履歴画面にて基本情報編集ボタンをクリックする。まず、基本イメージ画面の C r e f が 2 の T M データをクリックして詳細履歴画面に遷移する。詳細履歴画面中段右上の基本情報編集をクリックすると基本情報編集画面に遷移する。そして、戻るボタンをクリックすると、詳細履歴画面に戻る。

【0162】

次に、基本情報編集画面の操作を説明する。

基本イメージ画面、基本テキスト画面、最新情報一覧画面、期限管理画面、更新管理画面にて複数の案件を選択して基本情報編集画面に遷移した場合、下段に表示された案件の中から編集する案件を選択する（案件の左端のチェックボックスをチェック選択し、編集ボタンをクリックする）。この時、編集する案件の基本情報が上段に表示されていることを確認する。まず、基本情報編集画面にて編集が必要な欄を選択し書き込む。確認ボタンをクリックする。変更実行の確認ウィンドウ画面にて表示されるので、OK をクリックする。

【0163】

ここで、C r e f が 1 の案件を編集する場合、出願日のような項目は、編集が必要な欄に直接選択・書き込む。国の編集には国名編集にて行う。国名選択ボタ

ンをクリックすると、国名選択画面に遷移する。まず、国名一欄から希望の国のラジオボタンをクリックし、確定ボタンをクリックすると選択した国名が基本情報編集画面に表示される。

【0164】

編集のある欄は、編集をクリックして編集する。編集をクリックすると住所録画面に遷移し、希望の住所情報の左端にあるラジオボタンをクリックし、選択ボタンをクリックすると選択した値が基本情報編集画面に表示される。編集が必要な項目をすべて変更したら、確定ボタンをクリックする。変更実行の確認WINDOW画面にて表示されるので、OKをクリックする。編集が確定され、基本情報編集画面に戻る。

【0165】

基本情報編集、履歴の作成・編集などで宛先や各種名称を選択するために必要な住所録のデータが、管理されている。メインメニュー画面の住所録をクリックすると住所録画面に遷移する。

【0166】

住所録の参照・編集の操作を以下に説明する。住所録画面にて住所録参照・編集ボタンをクリックして住所録検索画面へ遷移する。次に、検索項目を入力し、検索開始ボタンをクリックして住所録一覧画面へ遷移する。

【0167】

基本イメージ画面、基本テキスト画面、最新情報一覧画面、期限管理画面、更新管理画面、クラス通常画面、クラス国際還元画面の印刷ボタンをクリックすることにより一覧表を1枚の紙に収まるように印刷することができる。

【0168】

基本イメージ画面、基本テキスト画面、最新情報一覧画面、期限管理画面、更新管理画面、クラス通常画面、クラス国際還元画面のデータをCSV形式でダウンロードすることができる。

【0169】

上記実施例は商標を例にして説明をしたが特許、意匠等の管理にも適用できる。

【0170】

【発明の効果】

本発明に係る最適業務達成方法及び最適業務達成装置によれば、企業と企業からの仕事に対する代理人との間で同じ業務環境を作って最適な業務を達成すると共に同じ業務環境内で最適な業務を達成することができる。該方法により得られる成果物を提供する。

【0171】

本発明に係る最適業務達成方法及び最適業務達成装置によれば、業務の現状を認識した上ですべき仕事を短時間にかつ効率良く行うことができ、仕事の成果の向上を図ることができる。

【0172】

経営者、担当者、各部門間、並びに代理人間において業務を共有化することにより現在進行している業務をリアルタイムに各人の立場で知ることができるので最適な業務判断を行うことができる。

【0173】

日常の業務を通して書類を電子化して主コンピュータに記憶されて保存されるので物理的なファイルの必要性がない。よってセキュリティの確保がしやすいと共に大幅な省力化が得られる。

【0174】

業務情報が論理的な構成になっているので各種データ解析が容易にできる。かつ業務コストの大幅な削減を達成することができる。

【0175】

共通のデータベースを使用することによりクライアント側でコンピュータ装置のメンテナンス、更新を行う必要がない。

【0176】

データの客観性を維持でき、よって人の入れ替わりによらずに仕事の所定の品質が得られる。

【0177】

印刷の効率化を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図 1 は、本発明に係る最適業務達成装置を示す概略図である。

【図 2】

図 2 は、本発明に係る基本イメージ画面を示す画面図である。

【図 3】

図 3 は、本発明に係る基本テキスト画面を示す画面図である。

【図 4】

図 4 は、本発明に係る最新情報画面を示す画面図である。

【図 5】

図 5 は、本発明に係る期限管理画面を示す画面図である。

【図 6】

図 6 は、本発明に係る詳細履歴画面を示す画面図である。

【図 7】

図 7 は、詳細履歴画面に関連する遷移を示す遷移図である。

【図 8】

図 8 は、本発明に係る新規履歴作成 1 画面を示す画面図である。

【図 9】

図 9 は、本発明に係る新規履歴作成 2 画面を示す画面図である。

【図 1 0】

図 1 0 は、本発明に係る続きの履歴作成 2 画面を示す画面図である。

【図 1 1】

図 1 1 は、本発明に係る履歴編集画面を示す画面図である。

【図 1 2】

図 1 2 は、基本情報編集画面に関連する遷移を示す遷移図である。

【図 1 3】

図 1 3 は、本発明に係る基本情報編集画面を示す画面図である。

【図 1 4】

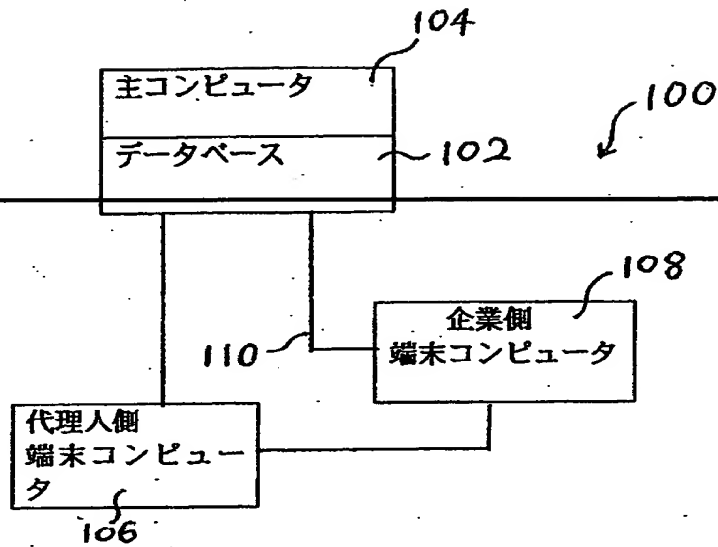
図 1 4 は、本発明に係る基本情報編集画面を示す画面図である。

【符号の説明】

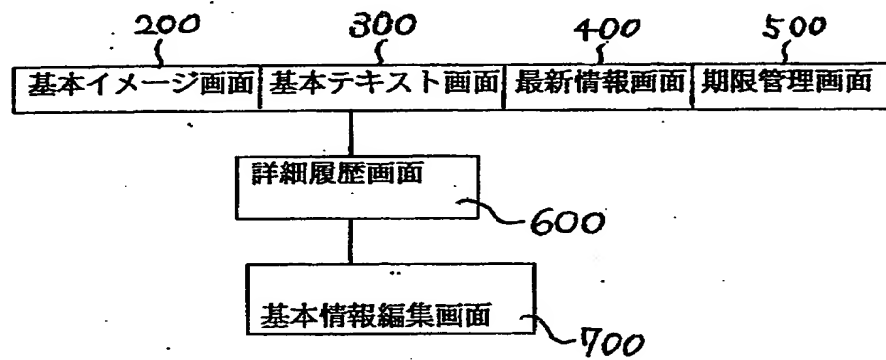
- 1 ; 基本情報編集ボタン
- 2 ; 履歴作成ボタン
- 3 ; 基本情報作成ボタン
- 4 ; 一括編集ボタン
- ~~5 ; SUB 言語切替ボタン~~
- 6 ; 印刷ボタン
- 1 0 0 ; 最適業務達成装置
- 1 0 2 ; データベース
- 1 0 4 ; 主コンピュータ
- 1 0 6 ; 代理人側端末コンピュータ
- 1 0 8 ; 企業側端末コンピュータ
- 1 1 0 ; 通信回線

【書類名】 図面

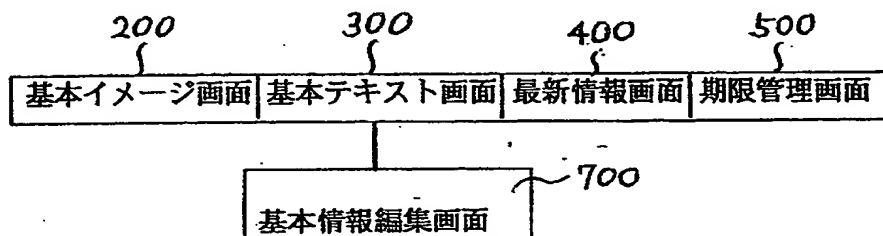
【図 1】



【図 7】



【図 12】



【図 2】

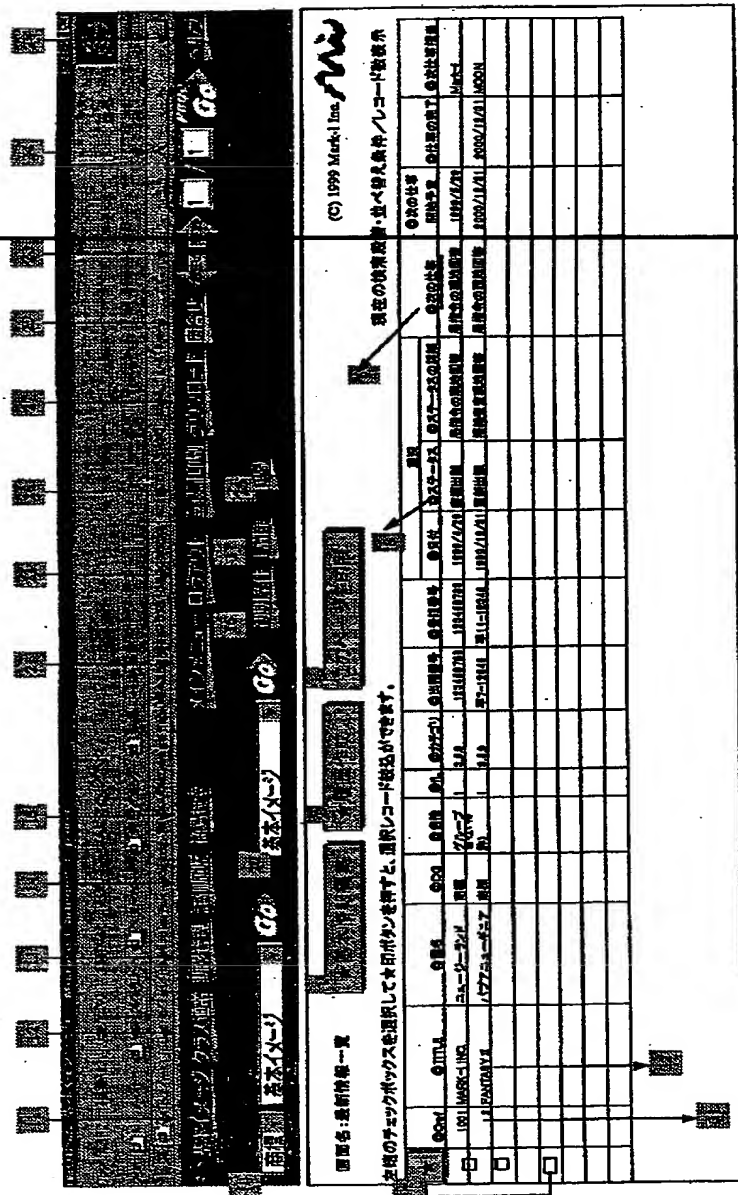
[illegible]

【図 3】

【図3】

[illegible]

【図 4】



【図 5】

[illegible]

【図 6】

[illegible]

【图 8】

[illegible]

【图9】

[illegible]

【図 10】

作成日付 1999/06/08 作成者 Yoshida

登録キーワード: 登録出題手帳 試験キーワード: 出題手帳 試験補正キーワード: 出題手帳
FROM 吉田 文書責任者: TO: 吉田 試験日付: 1999年06月08日

(親文書ID: 9000634402) の続きの履歴の作成②

キーワード選択: 追加質問発生

この仕事の
終了日付: 年 月 日
対象クラス:

コメントの入力:

この仕事の
終了日付: 年 月 日
この仕事の
終了日付: 年 月 日
この仕事の
終了日付: 年 月 日

【図 11】

作成日付 1999/05/08 作成者 Yoshida 更新日 1999/05/08

履歴の編集

試験日付 1999年 05月 08日 対象クラス 2

文書責任者 FROM 吉田 TO

登録キーワード 登録出題手帳
試験キーワード 最終差分
試験補正キーワード 更新済み
イベントキーワード 進行キーワードTEST

この仕事の 次の仕事 次の仕事TEST 次の仕事の担当者 Tsuchiya

この仕事を更新した場合、履歴の表示上からの前後の関係がなくなります。

この仕事の開始予定日 1999年 05月 09日
この仕事の終了予定日 1999年 06月 02日
この仕事の終了日付 1999年 01月 01日

本ファイルは存在しません

[illegible]

【図 14】

The image shows a screenshot of a web application interface. At the top, there is a browser address bar displaying a URL. Below the address bar, there is a main content area with a form titled 'SAMPLE'. The form contains several input fields and buttons. To the right of the form, there is a sidebar with the word 'SAMPLE' and some additional controls. Below the main form, there is a table with two rows of data. The first row has a date '1999/07/07' and a value '1000000000'. The second row has a date '1999/07/07' and a value '1000000000'. The table also has columns for '出庫半額' and '出庫倍率'.

日付	金額	出庫半額	出庫倍率
1999/07/07	1000000000		
1999/07/07	1000000000		

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 企業と企業からの仕事に対する代理人との間で同じ業務環境を作って最適な業務を達成すると共に同じ業務環境内で最適な業務を達成するための最適業務達成方法、最適業務達成装置及び成果物を提供する。

~~【解決手段】 最適業務達成装置は、最適な業務を達成するための情報を蓄積した~~
データベース 102 を備え主コンピュータ 104 と、上記コンピュータのアクセスするための代理人側の端末コンピュータ 106 と、企業側の端末コンピュータ 108 とを備え、これら主コンピュータ、各端末コンピュータとは通信回線 110 で結ばれている。従って、代理人及び企業間とは同じ環境に置かれる状態が得られる。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[5 9 9 1 1 5 1 4 7]

1. 変更年月日	1 9 9 9 年 7 月 1 2 日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都千代田区麹町 3 丁目 5 番 1 9 号
氏 名	株式会社マークアイ